

9:23 ですから、天にあるものの写しは、これらのものによってきよめられる必要がありますが、天上にある本体そのものは、それ以上にすぐれたいけにえによって、きよめられる必要があります。

9:24 キリストは、本物の模型にすぎない、人の手で造られた聖所に入られたのではなく、天そのものに入られたのです。そして今、私たちのために神の御前に現れてくださいます。

9:25 それも、年ごとに自分の血でない血を携えて聖所に入る大祭司とは違い、キリストはご自分を何度も献げるようなことはなさいませぬ。

9:26 もし同じだとしたら、世界の基が据えられたときから、何度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかし今、キリストはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れてくださいました。

9:27 そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、

9:28 キリストも、多くの人の罪を負うために一度ご自分を献げ、二度目には、罪を負うためではなく、ご自分を待ち望んでいる人々の救いのために現れてくださいます。

イエス様は永遠の大祭司として「天の」聖所に入られました。それは神のおられる神の御座であり、実は見える「聖所」以上のもの、永遠絶対なるものです。

ですからキリストの十字架の身代わりによって救われ、その血によってきよめられた私たちは、永遠の安息に入ることができたのです。

私たち人間は「一度死ぬことと死後にさばきを受

けること」が定まっていますが、イエスの十字架を受け入れた私たちにとって、さばきとは無罪を宣言されることです。またその未来は「救いのために来られる」というイエス様による救いの完成（新天新地）なのです。

その希望にふさわしい歩みをしましょう。もとは罪人であるという者にふさわしく謙遜でありましょう。永遠の大祭司にとりなしていただけている安心を感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

